

事業名称	町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト ～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう～
団体名	シェフネットひめじ
協働の相手方	観光課

目的	姫路のまちの課題のひとつである滞在型観光に対して、姫路城とその周辺地域が一体となった取り組みやソフト面（食文化）とハード面（姫路城）が一体となった取り組みが充分だとは言えない。今回の取り組みを通じて、姫路の食文化を盛り上げているシェフたちとともに、姫路らしい食事空間や雰囲気づくりにチャレンジする。また、姫路城周辺の家屋・建造物は法や条例の制約を受け、歴史的価値のある建造物が活用されず、解体される事例が散見されるので、行政や市民と協働し、町家・古民家の持つポテンシャルを最大限に引き出す。
内容	町家・古民家を活用した事業に関心のある市民と協働し、城周辺の町家・古民家を活用し1日限定の食事提供と音楽ライブを行う。食事は地元の一流シェフが地元食材をふんだんに活用したランチを出張調理し、同時に地元アーティストによる音楽ライブを行うことで、今後ますます増加が見込まれる国内外の観光客に向け、まちの歴史を感じながら音楽とともに食文化を楽しめる新たな観光コンテンツの創出を目指す。
事業経過	7月 関係者・業者による打合せ、会場の確定、定例会の実施 8月 PR媒体の作成・配布、HP掲載、シェフ・ボランティア・出演者募集、定例会実施 9月 事業チラシ作成、シェフ・出演者決定、メニュー考案、業者打合せ、定例会実施 10月事業実施に向けた具体的な打合せ、10/29（日）11時～17時 事業実施 11月振り返りの会にて今後の課題の抽出、申し送り事項のまとめ
事業の効果	姫路城周辺地域の古民家で新進気鋭のシェフによる食事音楽の生演奏と共に楽しむという新しい食文化を市民に提示することができた。また、歴史のまちである姫路らしさを感じていただける新たな観光コンテンツの提案にもなった。地元の不動産や古民家再生事業を検討する実業家にも来場いただき、古民家のポテンシャルを知っていただく機会にできた。また、古民家やカフェなどに興味関心のある市民、学生ボランティアとも連携し、実際に古民家を使用した事業に触れて体験していただく場を提供することができた。
今後の展望	本事業では、運営面において課題は残ったものの、来場者・出演者・シェフ・ボランティアスタッフと非常に満足度の高い意見を頂戴している。そして、本事業の会場は、今後商用利用も視野に入れた改築を進めるとのことなので、本事業の関係者のつながりを保持していくこと、今回確認できた課題の解決策を明確にし、申し送りすることで、市民にとって再現性の高い事業としてパッケージングしたい。また、古民家カフェなどの飲食事業の一手前にある臨時的な古民家活用の手法の一つとすることで、町家や古民家の保存・活用に向けた一助としたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

本事業は、来場者や関係者から、またこの事業をやってほしいという数多くの評価の声をいただいた。目標としていた来場者数200名、食事提供数50食、出演組数5組をいずれも大幅に上回り、数字にもそれが反映されていると考えている。姫路城を中心とした地域、市民、事業者、行政が協働・連携できたという点、食文化発信の新たなコンテンツを造成・提供できた点では成功を収めたと感じている。ただ、実際に事業収支という観点で考えた際、本事業の収入だけでは人件費や店内の整備・装飾費は到底賄うことができず、古民家を再生・活用し、流動性を高めるところまで事業効果を求めるのであれば、集客やマーケティング、収益化など具体的な経営ノウハウに関するブラッシュアップが必要だと感じた。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

姫路城のバッファゾーンの資源や地元食材を活用したイベントであり、観光客の滞在時間の延長にもつながる事業であったと考えている。姫路城周辺で開催のイベントに合わせ魅力的なイベントを展開されており、目標を超える来場者があったことから、面での賑わいづくりの広がりが見られた。今後は、経営の面からも、持続可能で、他のモデルとなるような取り組みにつなげていただきたいと考えている。町家や古民家の保存・活用も含めたさらなる賑わいを期待して、プロモーション活動に協働したい。